



「燃ゆる感動 かがしま国体の総合開会式に参加して」

校長 富田 茂也

「暑さ寒さも彼岸まで」という言葉どおり合同運動会終了頃から猛暑もおさまり、さわやかな秋がやってきました。日中に対して、朝晩は肌寒ささえ感じます。寒暖差に注意して風邪などひかないようにお気を付けてください。

さて、特別国民体育大会「燃ゆる感動 かがしま国体」の総合開会式に運良く参加することができましたので、その時の感動を少しご紹介します。

まず、オープニングプログラムでは火縄銃、奄美の島唄、薩摩の古流剣術示現流、鹿児島出身の歌手、辛島美登里さんの「ゆめ K I B A I Y A N S E ~」の歌にあわせた創作ダンスなど鹿児島らしさが満載でした。続いて式典前演技では、「鼓動」をキーワードに色鮮やかな衣装をまとった高校生らが鹿児島の魅力を未来に向けて発信しました。そしていよいよ開会式。各県選手団の力強い入場とそれに呼応する割れんばかりの拍手で会場のボルテージは最高潮に達しました。さらに、『コロナ禍からの再生と飛躍』を象徴する大会として、皆さんの心に残り、実り多いことを期待する」という天皇陛下のお言葉には大変感動させられる次第でした。思えば2020年に行われるはずだったのです。県選手の中には、「かがしま国体が延期された3年間を思い出して泣いてしまった」という選手も多かったようです。コロナ禍で出場できなかった選手の分まで頑張してほしいと思います。参加される選手の健闘と大会の成功を心より祈りたいと思うことでした。

補足 鹿児島で開催されるのは昭和47年の「太陽国体」以来51年ぶりになります。当時、垂水市で開催されたウエイトリフティング競技のものまねを子どもながらによくしていたことをかすかに覚えています。今回は垂水市ではフェンシング競技が行われます。

11日(水)には全校応援に出かけました。きっとすばらしい思い出となることでしょう。

垂水市教育委員会学校訪問

9月19日、市教委学校訪問を実施しました。教育長を始め教育委員、各課長に来校いただき、授業を参観していただいたり、学校運営への指導・助言をいただいたりしました。

いただいたご助言等は整理し、全職員で共通理解を図りながら、今後の指導に生かしていきたいと思えます。



協和小学校・協和地区合同運動会

9月24日、4年ぶりに合同運動会を開催しました。午前中だけの開催でしたが、学校・保護者・地域が一体となった運動会は、活気があり、たいへん盛り上がりました。

準備から当日の片付けまで、多くの保護者・地域の方々にご協力をいただきました。ありがとうございました。



<10月~11月の主な行事予定>

----- 【10月】 -----

- 19日(木) 研究公開
1~4年・あおぞら学級 12:20 下校予定
5・6年 15:25 下校予定
- 23日(月) うち読の日
学校給食センター視察【希望者】

25日(水) 市陸上記録会【5・6年】

----- 【11月】 -----

- 1日(水) 地域が育む「かがしまの教育」
県民週間(~7日)
- 2日(木) 秋祭り【1・2年】
- 3日(金) 文化の日
- 8日(水) 垂水高校生との交流学習
- 11日(土) 土曜授業日
- 15日(水) 市小中合同音楽会【3~6年】

地域貢献



地域の協力



指導力向上



あいさつ運動の推進



交通安全運動の推進



学校教育の改善・充実



学習の成果発表 家庭・地域との連携



学校教育の改善・充実

